



留萌高校で行われた株式会社INFLUXによる
出前授業

洋上風力発電のこと理解

留萌
高校 INFLUXが出前授業

留萌高校（瀧澤共喜校）でこのほど、再生可能エネルギーを活用した事業に取り組む株式会社INFLUX（本社・東京都、星野敦代表取締役社長）の出前授業が行われ、電気・建築科電気コースの2年生5人が、洋上風力発電などに関する知識を深めた。

地域の特性を活かした発電に興味・関心を深め、電気・建築科の生徒としての自覚と誇りを持ってもらうことを目的に実施。プロジェクト開発事業部・北海道エリアチーフの北谷一史さん、同・北海道エリアマネージャーの十河佑輔さんが講師を務めた。

授業はスライドを使いながら行われた。講師は「日本全国での記録的な猛暑」「ドバイで大規模な洪水」といった地球温暖化・気候変動の被害について説明したのち、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギー（風力など自然界に常に存在するエネルギー）の導入が世界的に進んでおり、近年洋上風力発電導入が期待されていることについて話した。

そして「太陽光や陸上風力と比較し、発電量が圧倒的に多い」「地元企業への部品発注により、雇用拡大が見込まれる」といった洋上風力のメリットや仕組み、着床式と浮体式洋上風力発電の違いなども解説。生徒はスライドを見ながら講師の話真剣に聞いていた。

（森康太）